有機フッ素化合物（PFOS 及び PFOA 等）の水質調査結果について

令和８年１０月３０日
環境保全課

令和８年（２０２６年）６月、河川７地点を対象にＰＦＯＳ及びＰＦＯＡ等の調査を実施しました。

調査の結果、指針値超過はありませんでした。

なお、今年度は、調査を実施した熊本県内の河川の定点以外に、地下水の定点及び新規地点、飲用井戸、海域の定点において、ＰＦＯＳ及びＰＦＯＡ等の調査を計画していましたが、令和８年熊本地震により県の分析機器が被災したため、一旦、調査を休止しています。

１　環境調査（河川）

（１）採水時期　：令和８年（２０２６年）６月１１日から６月３０日
（２）調査項目　：ＰＦＯＳ及びＰＦＯＡ、ＰＦＨｘＳ※
（３）調査地点数：７地点
（４）調査結果

ＰＦＯＳ及びＰＦＯＡ：指針値（５０ng/L）を超過する地点なし
＜４ng/L～７ng/L

ＰＦＨｘＳ：指針値の設定なし
＜２ng/L

※ＰＦＨｘＳは水環境中の要調査項目に位置付けられており、県内の存在状況を把握するために実施

詳細は、別紙のとおり。

別紙

水質調査結果

（１）河川　　（単位：ng／L）

地点	PFOS 及び PFOA		PFHxS	
	指針値	調査結果	指針値	調査結果
上天草市　教良木川　倉江橋	50	<4	設定なし	<2
天 草 市　亀　　川　草積橋		7		<2
天 草 市　広 瀬 川　法泉寺橋		<4		<2
天 草 市　一町田川　一町田橋		<4		<2
水 俣 市　水 俣 川　鶴田橋		<4		<2
芦 北 町　佐 敷 川　栫橋		<4		<2
芦 北 町　湯の浦川　広瀬橋		<4		<2

報告下限値：4ng/L（PFOS 及び PFOA）、2ng/L（PFHxS）

（測定値が報告下限値未満の場合は「<4」又は「<2」と記載）